



獨國人^フハインケル^レ飛行機會社首席操縦士
^フゲルハルト、ニチケ^レ叙勲ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十八年一月十一日

内閣總理大臣東條英機



内

閣

昭和十八年一月九日 内閣書記官長 以

昭和十八年九月十五日勅記傳達
一月十二日施行

内閣總理大臣



賞勳局總裁

獨國人「ハインケル」飛行機會社首席
操縦士「ゲルハルト」ニチケハ我國海軍ノ
招聘ニ依リ昭和十五年十二月ヨリ翌十
六年二月ニ至ル期間及同十六年六月ヨ
リ同年八月ニ至ル期間來朝シ海軍航空
關係職員ニ對シ我國海軍ガ同社ヨリ購
入セル「ハインケル」一〇〇型高速戦闘機及「ハイ

賞勳局

ンケル」一二九型^{高速}爆撃機ノ操縦ニ関スル講習ヲ
行ヒ尚同社製ノ火藥銃ヲ持參シテ海軍
及民間飛行機會社職員ニ對シ獨逸空
軍前進基地ニ於ケル應急修理ニ本銃利
用ノ狀況ヲ紹介スル等我國海軍航空技
術ノ向上及我國航空界ニ於ケル飛行機應
急修理要具ノ改善ニ関シ貢獻セル功績顯
著ナリトス依テ此際外務大臣上奏頭書ノ
通叙勲被仰出可然哉此段允裁ヲ仰グ

裏面白紙

獨國人「ゲルハルト、エチケ」儀別記ノ通功績有之候趣ヲ以テ敍
勳ノ儀海軍大臣ヨリ申立有之候ニ付テハ此際右功勞ヲ御表彰被遊
頭書ノ通敍勳被仰出候様仕度此段謹テ奏ス

昭和十七年十二月二十八日

外務大臣 谷

正之



外務省

「ハインケル」飛行機會社首席操縦士
勳五等瑞寶章 「ゲルハルト、ニチケ」

右者帝國海軍ノ招聘ニ依リ昭和十五年十二月七日ヨリ昭和十六年
二月八日ニ至ル期間帝國海軍カ獨逸「ハインケル」飛行機會社ヨ
リ購入セル「ハインケル」一〇〇型高速戦闘機ニ關スル講習ノ爲
來朝シテ霞ヶ浦海軍航空隊ニ於テ海軍航空技術廠、横須賀海軍航
空隊ノ關係職員ニ對シ高速戦闘機ノ操縦術ニ關スル講習ヲ行フト
共ニ其間數次ニ亘リ高速戦闘機ヲ以テスル爆撃機ノ攻撃法、其他
「ハ」社ニ於ケル試験飛行ノ組織、作業ノ内容ニ關シ講演紹介ヲ
行ヒ更ニ昭和十六年六月二十八日ヨリ同年八月末日ニ至ル期間再
度來朝シテ前回同様帝國海軍カ同社ヨリ購入セル「ハインケル」

一一九型高速爆撃機ノ操縦ニ關スル講習ヲ實施セルモノニシテ高速戦闘機及高速爆撃機ニ關スル帝國海軍航空技術ノ向上ニ貢獻セル所極メテ大ナリ

尙第二次來朝ニ際シテハ「ハ」社製火藥鋏ヲ持參シテ第一海軍航空廠ニ於テ帝國陸海軍及民間飛行機會社職員ニ對シ講習ヲ行ヒ本鋏ノ獨逸空軍前進基地ニ於ケル應急修理ニ利用ノ狀況ヲ紹介シ帝國航空界ニ於ケル飛行機應急修理要具ノ改善ニ關シ啓發スル所大ナルモノアリ其功績顯著ナリトス

秘

儀祕第八八一號

昭和十七年十二月二十八日

外務大臣 谷 正 之

内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

獨國人「ニチケ」敍勳ノ件

獨國人「ゲルハルト、ニチケ」敍勳ノ儀別紙ノ通上奏致候間可然
Gerhard Nitsike

御取計相成度此段申進候也

内閣外務第一七七號



裏面白紙

外務省

(日本標準規格B5)